

# 平成23年度豊島区立明豊中学校

## 授業改善推進プラン

1. 学力向上を図るための全体計画
2. 授業改善推進プラン(豊島区様式)
3. 具体的な授業改善策と補充発展指導計画

豊島区教育目標

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・地域社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造性豊かな人間

の育成に向けた教育を重視する。

また、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を担い、豊かな環境の中で、子どもたちが、生涯にわたって主体的に文化やスポーツに親しむことができる人間として成長するよう関係諸機関等の一層の連携を図る。

さらに、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが連携しておこなわなければならないものである

豊島区立明豊中学校

人間尊重の精神を基調とし、国際社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指す。

- 自ら学び深く考える生徒
- 思いやりの心と強い意志をもつ生徒
- 健康で明るく、礼儀正しい生徒

本校は、平成16年、旧第十中学校と旧千早中学校の統合新校として開校し、さらに平成18年に新校舎移転と同時に旧長崎中学校が加わった創立8年目の学校である。学校の周辺は住宅街で、静かな環境である。地域・保護者は、学校教育への関心が高く、常に協力的であり、PTAの活動も活発である。生徒は、素直な生徒が多く、行事に意欲的に取り組むなど落ち着いた学校生活を送って

学校経営方針

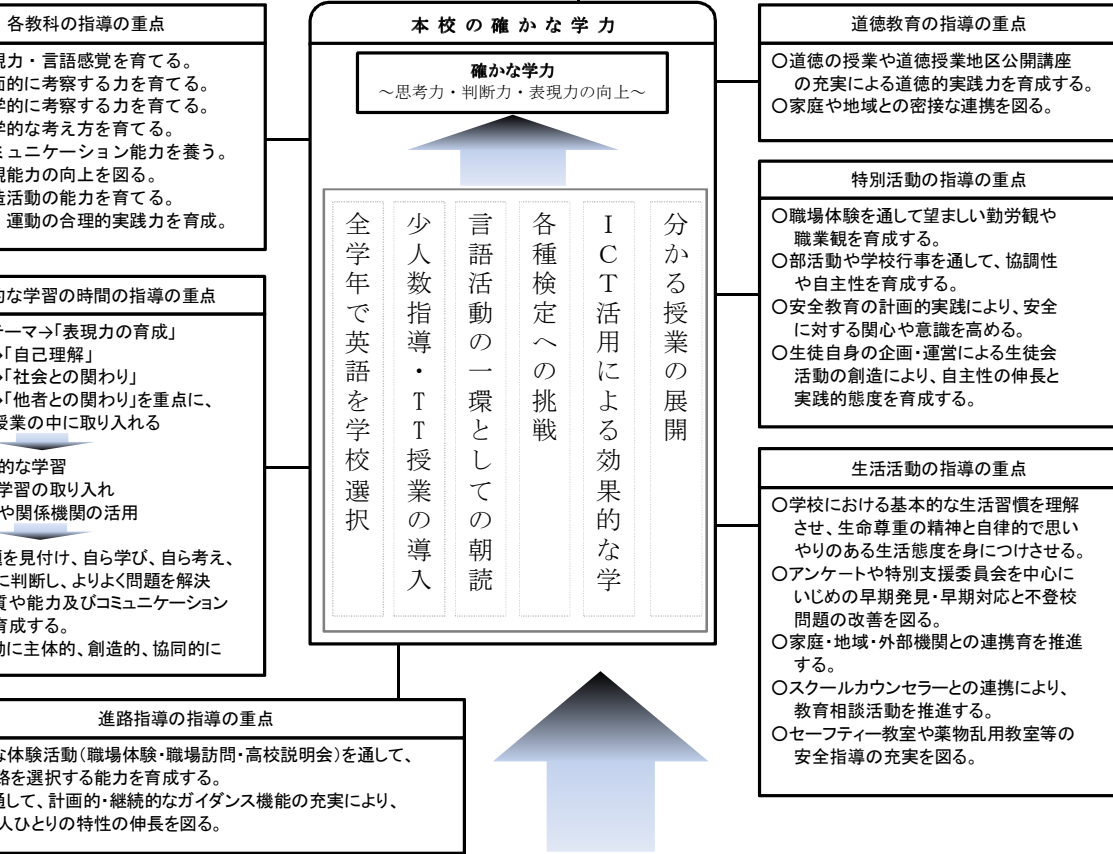
目指す生徒像

- 本気で取り組む生徒
- 元気で、明るく、さわやかで、素敵な生徒

目指す学校像

「興味・関心・意欲を持たせ、わかりやすい授業をする学校」

1. 授業で勝負する学校
2. 課題発見と解決の意欲がある学校
3. いじめのない学校
4. 地域の中の学校
5. 服務事故のない学校



**各教科の指導の重点**

国語 表現力・言語感覚を育てる。  
 社会 多面的に考察する力を育てる。  
 数学 数学的に考察する力を育てる。  
 理科 科学的な考え方を育てる。  
 英語 コミュニケーション能力を養う。  
 音楽 表現能力の向上を図る。  
 美術 創造活動の能力を育てる。  
 保健体育 運動の合理的実践力を育成。

**総合的な学習の時間の指導の重点**

○全校のテーマ→「表現力の育成」  
 1年生→「自己理解」  
 2年生→「社会との関わり」  
 3年生→「他者との関わり」を重点に、下記を授業の中に取り入れる

・問題解決的な学習  
 ・体験的な学習の取り入れ  
 ・外部講師や関係機関の活用

○自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力及びコミュニケーション能力を育成する。  
 ○探究活動に主体的、創造的、協同的に

**進路指導の指導の重点**

○啓発的な体験活動(職場体験・職場訪問・高校説明会)を通して、自ら進路を選択する能力を育成する。  
 ○年間を通して、計画的・継続的なガイダンス機能の充実により、生徒一人ひとりの特性の伸長を図る。

**道徳教育の指導の重点**

○道徳の授業や道徳授業地区公開講座の充実による道徳的実践力を育成する。  
 ○家庭や地域との密接な連携を図る。

**特別活動の指導の重点**

○職場体験を通して望ましい労働観や職業観を育成する。  
 ○部活動や学校行事を通して、協調性や自主性を育成する。  
 ○安全教育の計画的実践により、安全に対する関心や意識を高める。  
 ○生徒自身の企画・運営による生徒会活動の創造により、自主性の伸長と実践的態度を育成する。

**生活活動の指導の重点**

○学校における基本的な生活習慣を理解させ、生命尊重の精神と自律的で思いやりのある生活態度を身につけさせる。  
 ○アンケートや特別支援委員会を中心にいじめの早期発見・早期対応と不登校問題の改善を図る。  
 ○家庭・地域・外部機関との連携を推進する。  
 ○スクールカウンセラーとの連携により、教育相談活動を推進する。  
 ○セーフティー教室や薬物乱用教室等の安全指導の充実を図る。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○わかりやすい授業を工夫改善し、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。 ○個々に応じた学習内容を工夫し、思考力・判断力・表現力が向上するような教材や指導を工夫する。 ○生徒・保護者による学校評価を導入し、授業改善に役立てる。	○全学年で、英語を学校選択とし、語彙数を充実させ、コミュニケーション能力を育成させる。 ○数学科において、全学年少人数編成授業を実施し、基礎学力の向上を目指す。 ○理科においては、TTによる授業を実施し、個別指導を徹底させる。 ○寺子屋タイムや水曜トライ	○授業改善をわらした計画的な校内研修により、若手教員のOJTを図る。 ○小中連携により、生徒理解や指導に役立てる。 ○定期的な校内特別支援委員会により、生徒理解と個別指導を充実させる。	○各教科とも、評価計画に基づく評価を実施する。 ○各教科部会において、授業計画や評価計画の見直しと改善をする。 ○生徒・保護者に学校評価についての意義を説明。	○地域に根ざした学校づくり ・保護者会 ・学校だより ・授業参観週間(年3回) ・学校運営連絡協議会 ・学年懇親会 ・教育相談 ・部活における外部指導員 ・大学生ボランティアの積極的活用

## 平成23年度 豊島区立明豊中学校 授業改善推進プラン

### 1 授業改善の取組に対する自己評価

No.	項目	内容	評価	評価の説明
1	実績・取組	22年度から23年度にかけての授業改善の自校の取組について。	4	校内研修として、全教員が年間通して授業研究を行い、授業力向上に努めている。「学力向上をはかる全体計画」と「9教科にわたる向上させたい能力及び補充発展指導計画」を見直した。
2	23年度結果	23年度の学力調査結果に関する学校としての自己評価について。	3	各教科とも定着している領域と指導の工夫により改善が必要な領域がある。特に、1年生の結果には、課題を多く残しており、3年間を見通した指導計画の見直しが必要である。また、小中連携教育を視野に、学力面で連携を深めていく。
3	課題の共有	児童・生徒の実態を把握し、課題を共通理解することができているか。	4	学力調査結果について、昨年度末の生徒の授業アンケートと併せて、学年や教科部会で分析・考察を行った。また、経営会議で5教科に関して校内でヒアリングを実施し、結果を共有した。
4	方針の明確化	学校の学力向上の取組や内容が児童・生徒に理解されているか。	3	学力調査実施後、各教科の指導において説明を行い、今後の個票返却時に十分な説明を行う。
5	説明責任	学校の学力向上の取組や内容が保護者に理解されているか。	3	教育相談や保護者会で、学力調査の分析結果や自校の学力向上を図るための全体計画を説明する。また、学校だよりやホームページにアップデートし、内容の理解を継続して図る予定である。

### 2 自校の課題と授業改善の方策

教科等	課題(分析・考察によって明らかになったこと)	改善のための方策(今後 何にどのように取り組むか)
国語	全学年の学力が、ほぼ豊島区の平均値に達し、基礎・応用力共に平均を上回っている。また、読む力に関しては各学年共、僅かながら平均を下回っている。	今後も基礎・基本の定着を中心に漢字学習に力を入れる。全校で漢字コンテストを実施する。朝読書の取り組みをさらに充実させ、読む力の向上の機会とする。言葉を活用する力を伸ばしたい。
社会	2、3年生の学力が、ほぼ豊島区の平均値に達しているのに対し、1年生の「社会的な思考・判断」や「観察・資料活用の技能・表現」などの項目において著しい落ち込みが見られる。	プリント等による反復学習、また毎時間の授業においても前時の学習の復習をくり返し行い、基礎・基本の学力の定着に徹底して力を注ぐ。資料(統計・グラフ・地図など)を分析・考察し、表現する学習を行う。
算数(小) 数学(中)	3年生はほとんどの項目において豊島区の平均値を上回っているが、1・2年生は届いていない項目が多い。特に1年生は、数学的な表現・処理以外が大きく平均を下回っている。	プリントや問題集を活用し、演習量を増やすとともに、放課後や夏季休業中の補習教室(3年)などで、基礎・基本の定着を図る。2学期には計算コンテストを実施する。
理科	定着している領域は、1年生が天体に関する内容、2年生が植物、3年生が動物と天気である。定着していない領域は、各学年とも、科学的思考を伴う単元(光や電気などの物理分野)で、理解が弱い。	具体的な目に見えたり、触れることのできるような教材や教具を工夫する。日常生活と関わる内容を多く提示する。年に数回、発表の機会を設け、指導する。夏季休業中に補習教室(3年)を実施する。
英語(中)	語彙など基礎的な知識は概ね身につけているが、理解の能力・表現の能力について改善を要する。特に、聞き取り能力・長文読解・自由英作文の力を強化する必要がある。	スピーチ・プレゼンテーションを定期的実施する。また、ALTとのTTで、ALT主導の活動を増やし、リスニング強化の動機付けを行う。英文日記を導入する。中学生向けの英文記事を読む機会を設ける。

<p>他の教科や言語活動の充実等について</p>	<p>【音楽】意欲的に音楽に取り組もうとする態度や音楽を楽しむための技術を向上させる。  【美術】素描力を身につける。完成度の高い作品を製作する。  【保健体育】補強運動と体力向上への強いつながりを理解し、健康管理への関心を育成する。基礎体力や基本技能を身につける。  【技術家庭】生活に役立つ知識や技能を育成する。  【言語活動の充実】各教科・各領域で年間指導計画に多く位置づける。</p>	<p>【音楽】授業規律の徹底を行う。基礎基本の定着と技能に応じた課題の提供を行う。パトリリーダーの育成を行う。さまざまなジャンルの音楽に触れさせる。  【美術】個人指導を徹底する。安全指導を充実させる。画材や技法の特性を生かした制作を計画的に進める。  【保健体育】毎回の授業でランニングや補強運動を取り入れる。適切な個々の目標を設定させ、関心意欲を喚起し、技能を高める。  【技術家庭】生徒の生活に関連づけた指導を行う。教材を工夫し作品を製作できるように目標設定をさせる。  【言語活動の充実】「書く」「説明」「発表」「論述」「討論」の形態を教科や領域の各単元の特性に応じて指導方法に取り入れる。</p>
--------------------------	--	---

### 3 その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律を徹底し、基礎学力の定着を図る。</li> <li>・生徒からの授業アンケートをもとに、授業の改善や工夫を行い、興味や関心、意欲を引き出す「分かりやすい授業」を実践する。</li> <li>・校内研修の全体計画に基づき、学習指導や生活指導など多岐にわたる研修を充実させ、指導力の向上に努める。</li> <li>・水曜トライアルスクールとして、漢字検定、英語検定、パソコン検定の3講座を開設し、各検定試験に向けた学習に取り組ませ学力の一層の定着を図る。</li> <li>・保護者のスクールサポーターの方々の協力を得て、寺子屋タイムを開設し、学習の定着を図るための自学自習及び読書活動を推進する。</li> </ul>
---

平成23年度 向上させたい能力や態度と具体的な授業改善策及び補充発展指導計画

(国語)

	向上させたい能力や態度	具体的な授業改善策	補充・発展学習の指導計画
一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読む力の向上を図る。</li> <li>・基本的な授業態度(授業準備・姿勢)</li> <li>・漢字練習等の習慣づけ、自学自習の態度</li> <li>・表現(言葉を読む・聞く)しようとする態度</li> <li>・人の話を聞こうとする態度</li> <li>・きちんとノートをとる態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習帳や練習プリントの提出の徹底を図る。</li> <li>・授業はもとよりノート指導を定期的に行う。</li> <li>・ワークブックによる家庭学習の定着を図る。</li> <li>・辞書の活用による基礎学力の向上と言葉への関心を高める。</li> <li>・漢字や文法の小テストの実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合格ラインに達していないものについては再度提出を求めたり、テストを行う。</li> <li>・発展的なプリントを配布し、国語への関心や意欲を高める。</li> <li>・漢字コンテストを実施し、合格するまで受験させる。</li> <li>・漢字検定の学習会を実施する。</li> </ul>
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対する授業態度</li> <li>・漢字練習等の習慣づけ、自学自習の態度</li> <li>・人の話を聞こうとする態度</li> <li>・話し手の趣旨を理解しながら聞く能力</li> <li>・自分の意見をまとめて表現しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら調べたことをまとめ、発表する機会を設ける。</li> <li>・聞き取りテストの実施。</li> <li>・ワークブックによる家庭学習の定着を図る。</li> <li>・辞書の活用による基礎学力の向上と言葉への関心を高める。</li> <li>・漢字や文法の小テストの実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典は、暗唱できるまで何度でも確認テストを行う。</li> <li>・発展的なプリントを配布し、国語への関心や意欲を高める。</li> <li>・漢字コンテストを実施し、合格するまで受験させる。</li> <li>・漢字検定の学習会を実施する。</li> </ul>
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読む力の向上を図る。</li> <li>・仲間の意見と自分の意見を比較・検討する力の向上を図る。</li> <li>・文法の能力の向上を図る。</li> <li>・書いた文章を吟味、言葉を選んで文章を書く力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く同じ文章を読み取る力を向上させるためにペア読み、プリント、ワークなどさまざまな手法を用い、読む機会を多く設ける。</li> <li>・語彙力を高めるために意味調べや漢字の反復学習を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合格ラインに達していないものについては再度提出を求めたり、テストを行う。</li> <li>・夏休みに補習教室を実施する。(補充・発展)</li> <li>・漢字コンテストを実施し、合格するまで受験させる。</li> <li>・漢字検定の学習会を実施する。</li> </ul>

(社会)

	向上させたい能力や態度	具体的な授業改善策	補充・発展学習の指導計画
一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象に興味・関心をもち、資料を活用しながら、意欲を持って学習する態度を育成する。</li> <li>・地理的分野・歴史的分野についての基礎的な学力を定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味・関心を引き起こすような多くの資料を提示・活用する。</li> <li>・学習内容を確認するプリントに取り組みせ、基礎学力の定着をはかる。</li> <li>・ノートやプリント点検を定期的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やインターネット等からの資料の活用により、生徒に興味・関心を喚起する学習を行う。</li> <li>・長期休業中の課題として新聞作成などを提示し、生徒が自ら資料を探し、活用・構成する力を養う。</li> </ul>
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象に興味・関心をもちとともに資料から得た情報をもとに多角的に考え判断し、表現できる力を育成する。</li> <li>・基礎的な学力を身につけるための自主的な学習態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの資料を提示・活用する。読み取らせた内容を文章に書かせ発表させる授業を繰り返す。</li> <li>・基礎的な学力の定着のために反復学習のワークシートに取り組みせ、定期的に小テストを行う。</li> <li>・ノートやプリント点検を定期的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やインターネット等からの資料の活用により、生徒に興味・関心を喚起する学習を行う。</li> <li>・長期休業中の課題として新聞作成などを提示し、生徒が自ら資料を探し、活用・構成する力を養う。</li> </ul>
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象に興味・関心をもちとともに、自主的に考え、学ぼうとする態度を育成する。</li> <li>・資料から得た情報をもとに多角的に考察、表現できる能力を育成する。</li> <li>・3年間の学習内容の定着をはかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味・関心を持たせるような多くの資料を提示し、多角的に考察し、自分の考えを整理して文章に表現させる。</li> <li>・ワークまたは、プリントにより3年間の学習の総復習を行う。</li> <li>・ノートやプリント点検を定期的に行う。</li> <li>・定期テストで1、2年の復習問題を出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やインターネット等からの資料を提示し、様々な社会的事象について考察し、自分の考えを文章で表現する学習を行う。</li> <li>・長期休業中の課題として新聞記事のレポートを課し、世の中のできごとに対し、多角的に考察する力を養う。</li> </ul>

(数学)

	向上させたい能力や態度	具体的な授業改善策	補充・発展学習の指導計画
一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算を中心とする基礎・基本の定着</li> <li>・数量や図形などについての基本的な知識の定着</li> <li>・数学的な見方や考え方をを用いて問題を解決しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題演習量を増やし、繰り返し練習する時間を確保する。</li> <li>・自らの力で考え、解決させるような取り組みの工夫を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において小テストを実施する。</li> <li>・プリントや問題集を利用して、問題演習量を増やす。</li> <li>・少人数習熟度別授業を活用し、生徒の理解度に合わせた指導の工夫を行う。</li> <li>・計算コンテストを実施する。</li> </ul>
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算を中心とする基礎・基本の定着</li> <li>・数学的な見方や考え方をを用いて問題を解決しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題演習量を増やし、繰り返し練習する時間を確保する。</li> <li>・1年の内容を復習しながら、新しい内容に取り組む。</li> <li>・自らの力で考え、解決させるような取り組みの工夫を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントや問題集を利用して、問題演習量を増やす。</li> <li>・少人数習熟度別授業を活用し、生徒の理解度に合わせた指導の工夫を行う。</li> <li>・放課後を利用して、補習や質問教室を行う。</li> <li>・計算コンテストを実施する。</li> </ul>
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算を中心とする基礎・基本の定着</li> <li>・数学的な見方や考え方をを用いて問題を解決しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題演習量を増やし、繰り返し練習する時間を確保する。</li> <li>・1・2年の内容を復習しながら、新しい内容に取り組む。</li> <li>・自らの力で考え、解決させるような取り組みの工夫を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントや問題集を利用して、問題演習量を増やす。</li> <li>・少人数習熟度別授業を活用し、生徒の理解度に合わせた指導の工夫を行う。</li> <li>・夏休みに補習教室を実施する。</li> <li>・計算コンテストを実施する。</li> </ul>

## (理科)

	向上させたい能力や態度	具体的な授業改善策	補充・発展学習の指導計画
一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味関心をもって授業に臨む態度。</li> <li>実験・観察を目的をもって行い、正確な結果を導き出すことが出来る能力。</li> <li>自らの考えや意見を発表する能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手としている抽象的な思考内容の補助となるように出来るだけ具体的に目に見えたり触ることの出来るような教材・教具を工夫する。</li> <li>日常生活と関わる内容をできるだけ多く示すことにより興味・関心が高まるようにする。</li> <li>年間に何回か、発表の機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の授業においてTT指導による机間巡視の充実をはかる。</li> </ul>
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味関心をもって授業に臨む態度。</li> <li>実験・観察を目的をもって行い、正確な結果を導き出すことが出来る能力。</li> <li>自らの考えや意見を発表する能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手としている抽象的な思考内容の補助となるように出来るだけ具体的に目に見えたり触ることの出来るような教材・教具を工夫する。</li> <li>日常生活と関わる内容をできるだけ多く示すことにより興味・関心が高まるようにする。</li> <li>年間に何回か、発表の機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の授業においてTT指導による机間巡視の充実をはかる。</li> <li>実技テストを個人の能力に応じて行い、実験器具の操作技術を向上させる。</li> </ul>
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味関心をもって授業に臨む態度。</li> <li>実験・観察を目的をもって行い、正確な結果を導き出すことが出来る能力。</li> <li>自らの考えや意見を発表する能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手としている抽象的な思考内容の補助となるように出来るだけ具体的に目に見えたり触ることの出来るような教材・教具を工夫する。</li> <li>日常生活と関わる内容をできるだけ多く示すことにより興味・関心が高まるようにする。</li> <li>年間に何回か、発表の機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休業期間中の質問教室。</li> <li>受験にむけて、3年間の総復習課題を提示し、進捗状況に応じて指導助言する。</li> </ul>

## (英語)

	向上させたい能力や態度	具体的な授業改善策	補充・発展学習の指導計画
一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本的な文法事項の理解力</li> <li>授業規律の更なる徹底</li> <li>積極的に英語を話す姿勢・態度</li> <li>あいさつや自分の日常を表現するための基礎的な語彙の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定着度を図る小テストを実施する</li> <li>授業中にディクテーションを実施する</li> <li>英単語テストを実施する</li> <li>スピーチ・プレゼンテーションの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業中の単語練習課題</li> <li>教科書の英文に基づいたスピーチ・プレゼンテーションの実施</li> <li>単語テスト・小テストの実施</li> </ul>
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な文法事項の理解力</li> <li>表現力(条件作文、自由作文)</li> <li>読解力</li> <li>聞き取る能力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法項目別の演習問題を実施する。</li> <li>単元終了ごとに条件作文や簡単な自由作文を書く時間を設ける。</li> <li>教科書以外の簡単な英文を読解する時間を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休業中の英作文演習の課題</li> <li>確認テストの実施</li> <li>ALTとのTT時、アクティビティの実施によるコミュニケーション能力の育成。</li> </ul>
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>会話表現の理解力</li> <li>長文・ナレーションを聞き取り、理解する能力</li> <li>長文読解力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアおよびグループによる自由会話活動の実施</li> <li>小テスト実施による基礎力向上・定着</li> <li>ナレーションを聞き取り、読み取る活動の充実</li> <li>教科書本文の暗記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業中補習授業実施</li> <li>ALTとの活動による英語運用能力の育成</li> <li>長文の速読・リスニング・音読練習</li> </ul>

## (音楽)

	向上させたい能力や態度	具体的な授業改善策	補充・発展学習の指導計画
一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に音楽活動に取り組もうとする態度</li> <li>音楽を楽しむための技能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のルールの徹底(忘れ物をさせない)</li> <li>基礎基本の定着(繰り返しの練習)</li> <li>技能に応じた課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後・休み時間等に実技テストの補充</li> <li>変声期を含む発達状況に応じた基礎補充練習</li> </ul>
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に音楽活動に取り組もうとする態度</li> <li>音楽を楽しむための技能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎技能の充実</li> <li>1年時よりも高度な教材への挑戦</li> <li>パートリーダーを中心とした練習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後・休み時間等に実技テスト</li> </ul>
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に音楽活動に取り組もうとする態度</li> <li>音楽を楽しむための技能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎技能の充実</li> <li>さらに高度な教材への挑戦</li> <li>パートリーダーを中心とした練習の充実</li> <li>曲の解釈・分析に関する補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展:さまざまなジャンルの音楽に触れる(歌唱・鑑賞)</li> </ul>

## (美術)

	向上させたい能力や態度	具体的な授業改善策	補充・発展学習の指導計画
一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>忘れ物をなくし、意欲的に学習に取り組む態度</li> <li>レタリングの基礎 (明朝体・ゴシック体・英字・数字)</li> <li>彫刻刀の使い方</li> <li>基礎的素描力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返しの指導を行う。</li> <li>時間をかけて一人一人指導する。</li> <li>彫刻刀の使い方を指導する。 (三角刀・丸刀・平刀・切り出しの使い方)</li> <li>安全指導を充実(持ち方・彫り方)させる。</li> <li>物の形を正確にとらえられるように幾何形体などの基本的な形のデッサンを繰り返す。</li> </ul>	完成した生徒 1. 製図「48角形の対角線を結ぶ」 2. 模写「森の掟」(岡本太郎) 3. レタリング(明朝体)
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次に学習した画材の扱いを発展させて制作する能力</li> <li>長期にわたり、同じ作品に取り組む、発想をもとに計画的に制作する態度</li> <li>ポスターの完成度</li> <li>彫刻刀の使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画材や技法の特性を生かした制作を計画的に進める。</li> <li>レタリングの応用を指導する。 アイデアスケッチの充実を図る。</li> <li>安全指導を充実(細かい技術)させる。</li> </ul>	完成した生徒 1. 色彩構成 2. 模写「モナリザ」(レオナルド・ダヴィンチ) 3. レタリング(ポスター制作に向けて)
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合力や素描力</li> <li>完成度の高いレベルの作品を制作する。 (ポスター、アルバム、ファインスクラッチ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵画・デザイン・工芸の分野を総合的に指導する。</li> <li>アルバム制作において、裏表紙(鉛筆デッサン)や表紙(絵画・レタリング)及び内容(レタリング・イラスト・絵画・スケッチ カラー)などを計画的に進めて、完成させる。</li> <li>ポスターコンクールに向けて入賞するように指導する。</li> </ul>	完成した生徒 1. 模写(自分で選ぶ) 2. 自由画 3. デザイン 平面構成「正方形の分割」モノクロ・カラー 4. 美術系高校受験者に放課後素描指導

## (保健体育)

	向上させたい能力や態度	具体的な授業改善策	補充・発展学習の指導計画
一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団行動の基礎(時間・指示・ルール・服装など)を身につけさせたい。</li> <li>基礎体力や基本技能を身につけさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団意識を高めさせ、言葉での指示で動けるよう、繰り返し指導を行っていく。</li> <li>現状としては個人差が大きく、個に応じた授業展開の工夫が必要。できる生徒の手本の場づくりや苦手な生徒への積極的な声かけなどを行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳指導の補習</li> <li>放課後に記録測定の補充</li> <li>放課後に実技テストの補充</li> </ul>
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>走力・持久力・筋力を中心に基礎体力の向上を図る。</li> <li>自己の的確な課題の設定ができるようにするとともに、リーダーを育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の授業で、ランニングや補強運動を取り入れ、体力の向上に努めていく。</li> <li>各種目の特性や練習ポイントなど、知識・理解を深めていく。適切な個々の目標を設定することで、関心意欲を喚起し、お互い声をかけ合いながら技能を高め合えるよう指導していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳指導の補習</li> <li>放課後に記録測定の補充</li> <li>放課後に実技テストの補充</li> </ul>
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種目に応じて自己やグループの能力を知り、適切な課題設定と主体的に取り組める力を付けさせたい。</li> <li>十分な運動量を確保し、基礎体力を向上させたい。(限られた時間内での評価評定のためにも)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の技能・体力に応じた学習指導体制を取り入れ、個々の技能を高めていく指導を目指していく。</li> <li>運動量を確保するためにも、また、生徒主体の活動を確保するためにも、アメージメント行動(準備・移動・待機)の少ない授業を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳指導の補習</li> <li>放課後に記録測定の補充</li> <li>放課後に実技テストの補充</li> </ul>

## (技術家庭)

	向上させたい能力や態度	具体的な授業改善策	補充・発展学習の指導計画
一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味関心を持って授業に臨む態度。</li> <li>自立に必要な知識・技術の習得。</li> <li>課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度。</li> <li>空間認識力、木材加工技術の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習、実験を通し、食生活・消費生活をより身近なものにする。</li> <li>各自の認知能力を生かした教材作りの工夫。</li> <li>見通しを立てた授業計画。</li> <li>第三角法、木材加工技術の指導方法を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休業中の課題の提案。</li> <li>調理実習と食品添加物を使ったドリンク作り。</li> <li>プリント記入が苦手な生徒への個別対応。</li> <li>より工夫した作品を製作できるような具体的な目標設定を行う。</li> </ul>
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味関心を持って授業に臨む態度。</li> <li>自立に必要な知識・技術の習得。</li> <li>課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度。</li> <li>エネルギー変換に関する興味・関心</li> <li>生活に役立つ電気機器の保守点検を行える能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的・体験的な学習活動。</li> <li>各自の認知能力を生かした教材作りの工夫。</li> <li>見通しを立てた授業計画。</li> <li>タービン模型等の教材を工夫する。</li> <li>実生活に基づいた指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児のおやつ・エコパック制作を行う。</li> <li>グループによる住居模型作りと、書画カメラなどを使ってのグループ発表、建築士のアドバイス。</li> <li>放課後を利用した技能の個別指導。</li> <li>作品を製作する過程での個別指導。</li> </ul>
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味関心を持って授業に臨む態度。</li> <li>自立に必要な知識・技術の習得。</li> <li>課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度。</li> <li>高いモラル。</li> <li>生活に役立つ情報機器の操作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的・体験的な学習活動。</li> <li>各自の認知能力を生かした教材作りの工夫。</li> <li>見通しを立てた授業計画。</li> <li>実生活に基づいて様々な事例を挙げる。</li> <li>Tシャツ作りの色塗り、グラデーションの方法など、指導の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5大栄養素を生かした調理実習。</li> <li>手縫いによるぬいぐるみ制作。</li> <li>長期休業中の課題の提案。</li> <li>放課後を利用した技能の個別指導。</li> <li>より工夫した作品を製作できるような、具体的な目標設定を行う。</li> </ul>